



ハイパフォーマンスの実現へ

ブロックチェーンについて

(パート1)

ビデオトランスクリプト

金融サービス部門

マネジング・ディレクター

ブロックチェーンリード

デイヴィッド・トリート

ブロックチェーンを簡単に説明すると？

ブロックチェーンは、データ保存に関する汎用性のある技術で、安全な環境で関係者のみがデータにアクセスできます。改ざんされていないデータであるという信頼性を担保し、誰がどのデータを見られるかアクセスを制御することが可能です。今日の金融業界では、取引・決済・仮想通貨等に関する技術として非常に注目されていますが、もっと幅広い領域での利用が考えられます。そうした多様な活用こそ、データ構造体の共有というこの技術の本質を活かすものであり、ビジネスの大きな可能性を秘めるものです。

なぜ今、資本市場におけるブロックチェーンの活用を検討すべきなのか？

なぜ今なのかというと、1920年代、1930年代の暗号学から生まれた古い技術が、現代のビジネス環境においても極めて多様な形で応用できるという事実が認識されてきたからです。この技術はビットコインや仮想通貨によって広く知られるようになりました。しかし、関係者がデータを秘密裏に共有し、データを個別に保管する必要がないというこの基盤技術に対する根本的な認識が、ビジネス環境、特に資本市場エコシステムにおける非効率性の排除を妨げてきました。

ブロックチェーンは新しい技術ではなく、現代のビジネスが抱える課題解決のために極めて創造的に応用され、進化したものです。この技術の素晴らしい点は、データの取り扱いに関し、根本的なレベルでの進化が期待できることです。

ブロックチェーンを導入するためのステップは？

ブロックチェーンがどこへ向かっていくのか、現在、3つの大きな動きがあります。1つは市場インフラに関連する動きです。ブロックチェーンが持つ機能を活かして、中央集権的な市場インフラとは別のプラットフォームや業界共通のソリューションをつくり、ビジネスプロセスの変革やこれまでとは違った顧客サービスの提供を目指すというものです。

2つ目は、銀行や企業が複数集まってさまざまな規模のコンソーシアムを形成し、同様に新たな市場インフラを造ろうとする動きです。3つ目は、個々の企業がデータ管理の改善やこの技術の基本的な特性を活かして、社内用ソリューションを構築し、成果を上げるという動きです。